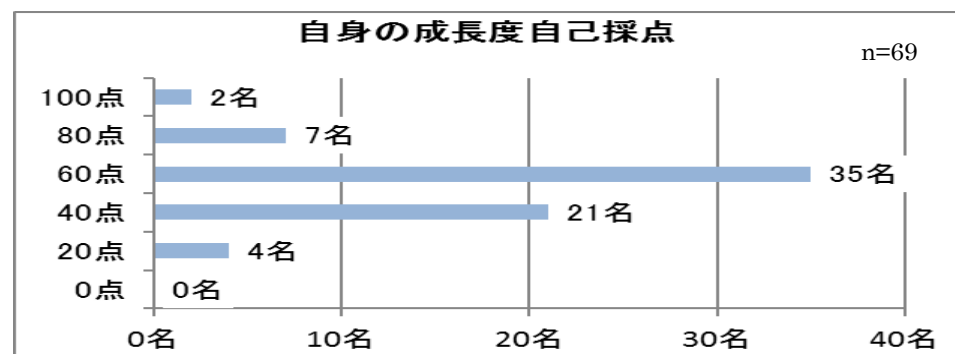


当協会では、2018 年 9 月 26 日に入社後半年間が経過した新入社員を対象として、現状の振り返りと新たな目標に向けて高い意欲を持って働く人材へと成長していただくことをねらいに、「新入社員フォローアップ研修」(当協会主催)を開催した。当研修参加者 73 名(24 社より男性 43 名、女性 30 名)を対象に、入社半年間での自己採点や自身の成長度、また、入社時と現在の意識の変化などについて「意識調査」を実施した。研修参加者全員から回答を得て、「新入社員意識調査(フォローアップ編)」をとりまとめた。

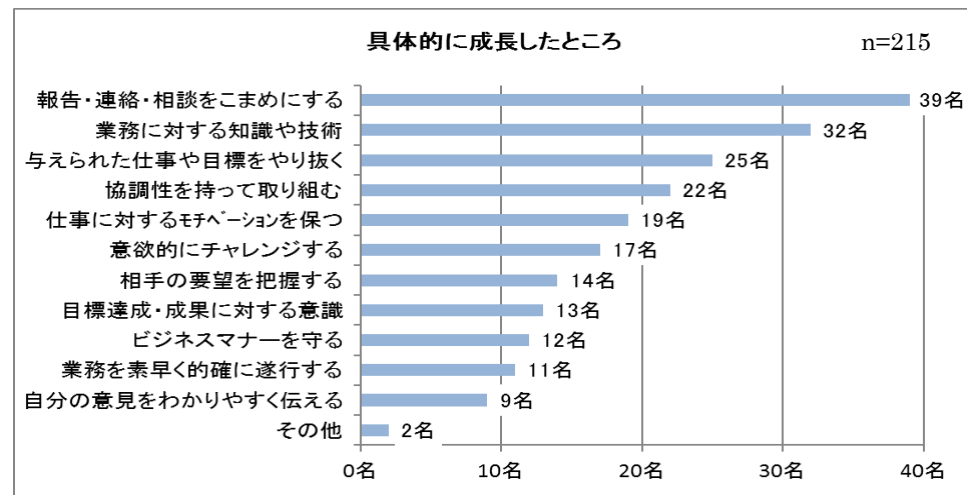
問 1. 入社から半年間経って、自身の成長度を自己採点してください。

自己採点では、60 点が 35 名と最も多く、次いで 40 点が 21 名、80 点が 7 名、20 点が 4 名、100 点満点は 2 名、0 点は 0 名であった。平均点は 54 点で、昨年度(52 点)同様控えめな自己採点結果であった。



問 2. 自身の成長度は、具体的にどの部分が成長した・身に付いたと思いますか？(複数回答)

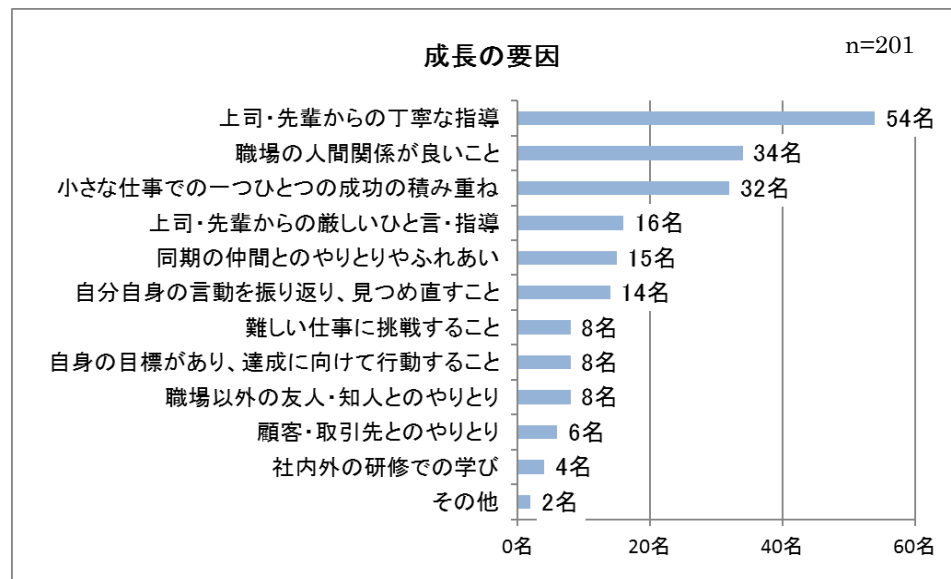
「報告・連絡・相談をこまめにする」が 39 名と昨年度(34 名)同様に最も多かった。次いで「業務に対する知識や技術」が 32 名、「与えられた仕事や目標をやり抜く」が 25 名、「協調性を持って取り組む」が 22 名と続いている。
「ハウレンソウ」、「与えられた仕事や目標をやり抜く」などの社会人としての基本や「業務に対する知識や技術」といったテクニカルスキルの成長を多く実感している結果となった。



問 3. 「成長の要因」はどのようなことだと思いますか？(複数回答)

「上司・先輩からの丁寧な指導」が 54 名と昨年度(50 名)同様に最も多かった。次いで「職場の人間関係が良いこと」が 34 名、「小さな仕事での一つひとつの成功の積み重ね」が 32 名と続いている。

上司・先輩の指導、職場の人間関係等を通して社会人としての成長を実感していることが窺える。

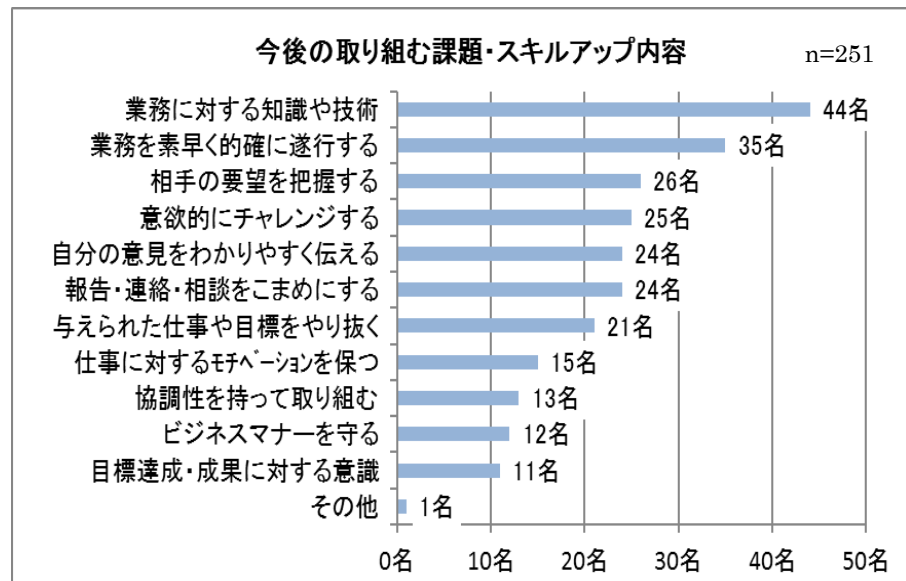


問 4. 今後、取り組む課題、スキルアップしたい内容は？(複数回答)

「業務に対する知識や技術」が 44 名と最も多く、次いで「業務を素早く的確に遂行する」が 35 名、「相手の要望を把握する」が 26 名と続いている。

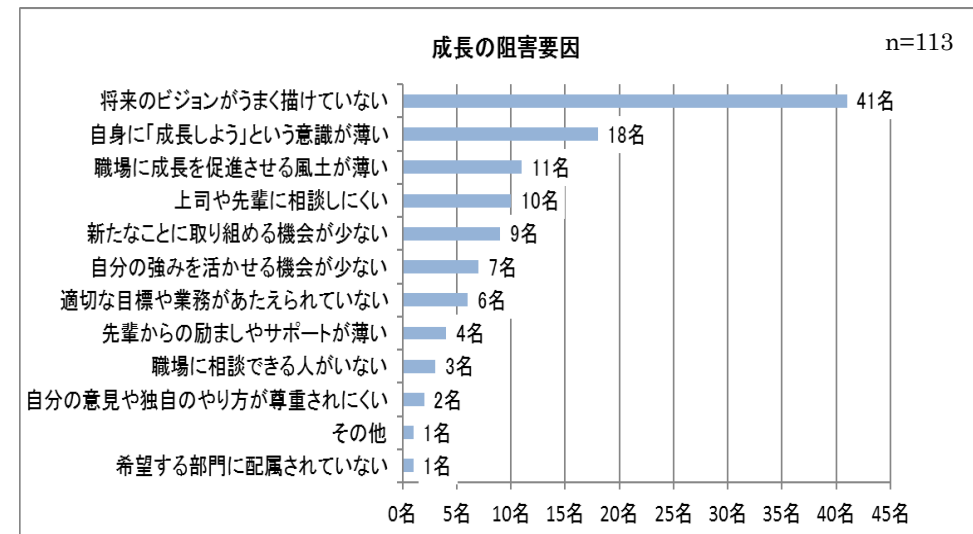
問 2 の成長度で低かった「業務を素早く的確に行う」といった業務遂行スキルと、また「業務に対する知識や技術」などのテクニカルスキルをアップしたいという声が多かった。

※参考：昨年度「業務に対する知識や技術」・「自分の意見をわかりやすく伝える」が各 33 名と最も多い。



問 5. 現時点で成長の阻害要因があるとすれば、どのようなことですか？(複数回答)

「将来のビジョンがうまく描けていない」が 41 名と昨年度(39 名)同様に最も多かった。次いで「自身に『成長しよう』という意識が薄い」が 18 名、「職場に成長を促進させる風土が薄い」が 11 名と続いている。

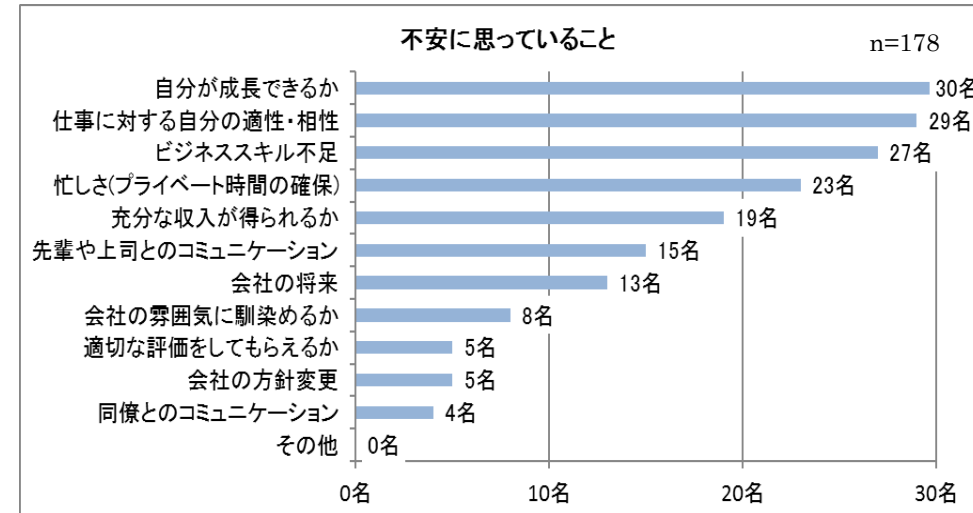


問 6. 現在、不安に思っていることは？(複数回答)

「自分が成長できるか」が 30 名と最も多く、次いで「仕事に対する自分の適性・相性」が 29 名、「ビジネススキル不足」が 27 名と続いている。

自身の成長を不安に思う声が多いが、問 5 の阻害要因で高かった「自身に『成長しよう』という意識が薄い」との意見もあり、社員のモチベーションを高める必要があると窺える。

※参考：昨年度「仕事に対する自分の適性・相性」が 29 名と最も多い。



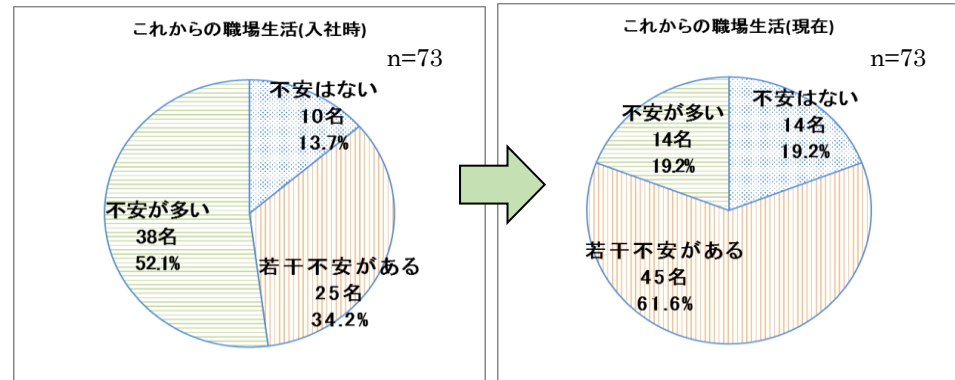
問 7 以降は、入社後半年間が経過しての心境の変化等を調査するため、「入社時」と「現在」の思いを回答してもらった。

(裏面へ続く)

(表面の続き)

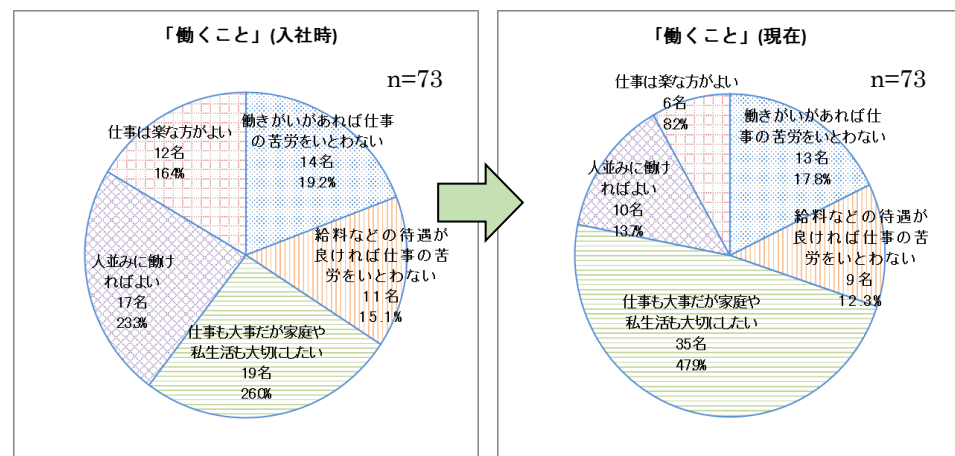
問 7. これからの職場生活に対する思いは？

「不安はない」は入社時が 10 名(13.7%)であったが、半年が経過した現在は 14 名(19.2%)と約 5 ポイント増加。一方で「不安が多い」は 38 名(52.1%)、現在は 14 名(19.2%)と約 33 ポイント減少。昨年と同様に、「不安が多い」の減少分が「若干不安がある」に移動する結果となった。



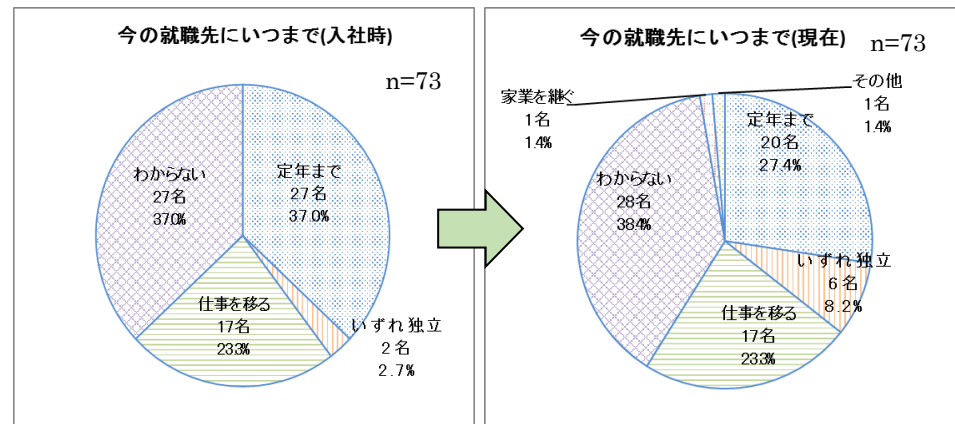
問 8. 「働く」ことについて自分の考えに最も近いものは？

半年が経ち大きく変化があったものは「仕事も大事だが家庭や私生活を大切にしたい」で、入社時が 19 名(26.0%)であったが、現在は 35 名(47.9%)と大きく増加した。



問 9. 今の就職先でいつまで働こうと思いますか？

入社時と現在を比較し、「定年まで」は、27 名(37.0%)→20 名(27.4%)と約 10 ポイント減少した。「仕事を移る」は、入社時と現在で 17 名(23.3%)と横這いとなった。

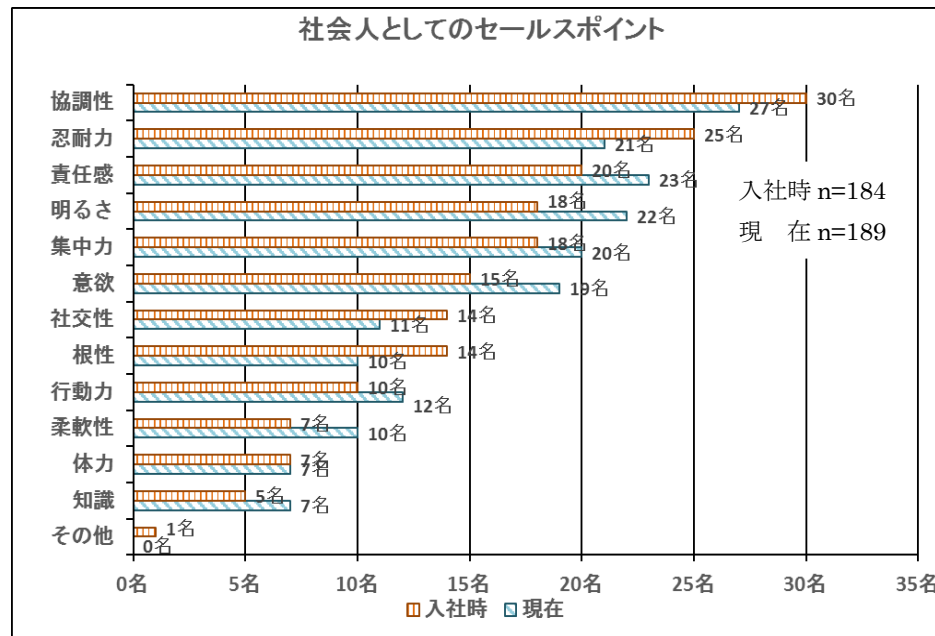


問 10. 社会人としての自身のセールスポイントは？(3つまで選択可)

下表の「協調性」～「意欲」までが入社時、現在のいずれも 15 名以上がセールスポイントとしている。

入社から半年が経ち、増えた主な項目は「意欲」入社時 15 名→現在 19 名、「明るさ」18 名→22 名、などであった。一方、減った主な項目は「協調性」30 名→27 名、「忍耐力」25 名→21 名などであった。

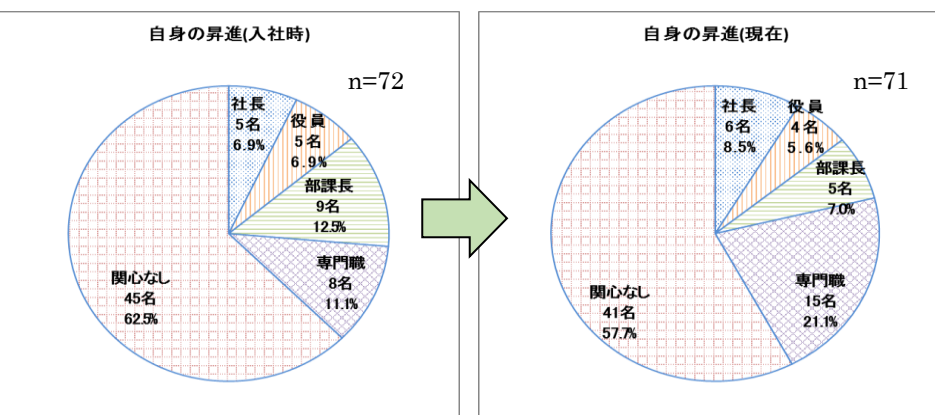
※昨年度は「協調性」が入社時 15 名→現在 11 名と低位であった。



問 11. 自身の昇進について、どこまで目指しますか？

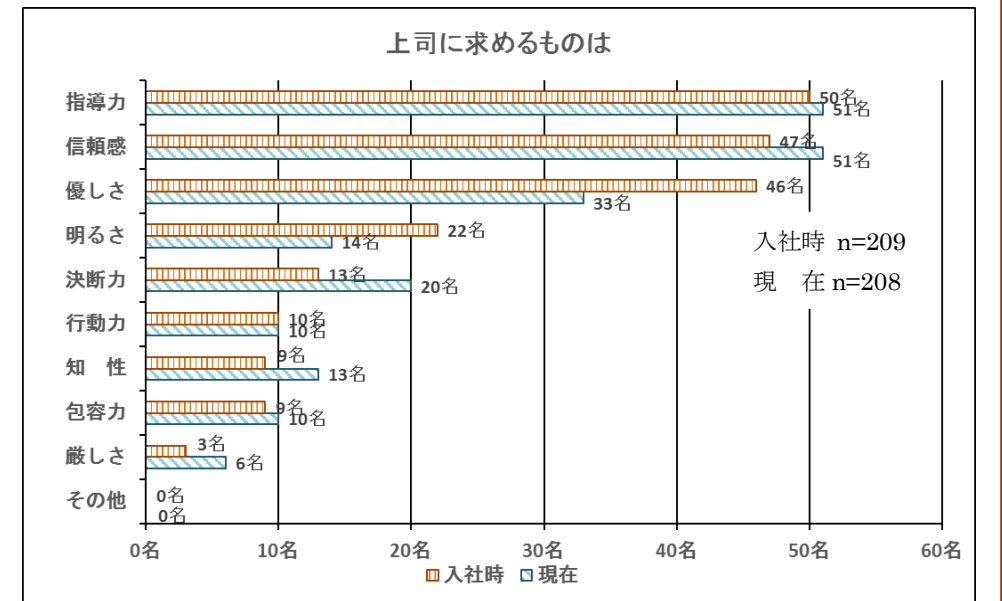
入社時と比べて増えたのは「社長」5 名→6 名、「専門職」8 名→15 名、であった。一方、減ったのは「役員」5 名→4 名「部課長」9 名→5 名、「関心なし」45 名→41 名となった。半年が経ち、専門職を通しての昇進に関心を示す結果となった。昨年と比較すると、関心なしの回答比率が大きく増加する結果となった。

※昨年度は専門職：9 名→16 名(27.6%) 関心なし：31 名→25 名(43.1%)



問 12. 上司に求めるものは？(3つまで選択可)

入社時も現在も「指導力」「信頼感」「優しさ」が上位を占めている。「優しさ」が入社時 46 名→現在 33 名と減った反面、「指導力」50 名→51 名「信頼感」47 名→51 名「決断力」13 名→20 名が増加となった。



まとめ

・社会人となり半年が経ち、上司・先輩の指導、職場の人間関係等を通して社会人としての成長を実感している。また、今後の取組む課題・スキルアップしたい内容も認識しており、今後の更なる活躍が期待される。

・成長の阻害要因や不安に思っていることでは、「将来のビジョンがうまく描けていない」・「仕事に対する自分の適性・相性」・「自分が成長できるか」などの先行きを不安視する声が多く窺えた。働くことについては、「仕事も大事だが、家庭や私生活も大切にしたい」との声が全体の半数近くあった。

・今の就職先でいつまで働くかの設問では、現職を変える意向を示す項目「仕事を移る」・「いずれ独立する」・「家業を継ぐ」・「その他(結婚するまで)」の合計が 34.3%となった。※昨年度：36.2%

・自身の昇進については、半数以上(57.7%)が昇進には関心を示さない結果となった。

・以上より、人材確保の観点から、社員定着率を向上させる取り組みが課題となる。そのためには、長時間労働の是正や柔軟な働き方がしやすい仕組みづくり、社員が自社での将来のビジョンを描け、意欲を持って成長していける職場環境づくりが求められていると思われる。

以 上